

電子メールを活用した情報伝達システムの導入について

1 経緯

去る 4 月 17 日(金)に開かれた平成 27 年度第 1 回 P T A ・ 後援会理事会において、電子メールを活用した情報伝達システム（以下「スクールメール」という）の導入の件について、話し合いが行われ、賛成多数で導入することとなった。

2 内容

(1) 目的

自然災害時や交通機関の事故発生時等の緊急連絡の他、学校行事や P T A 行事等の各種連絡に利用する。

※グループ（学年、職員、P T A 理事）ごとの利用も可能

(2) 利用方法

今後、取扱業者と契約した後、必要に応じ、管理者から業者のサーバーを経由し、登録者（生徒・保護者・職員）にメールを送信する。

送信するメールの内容については、緊急連絡を除き、管理者が P T A 会長と協議し、決定する。

(3) 管理者

校長、教頭とする。（実際に運用していく中で、変更することも検討していく）
管理者は登録者の氏名等を管理し、登録者のメールアドレスは、業者が管理する。

(4) 業者の選定

他校での運営状況等を調べた結果、P T A 役員と協議した結果、マ・メール（有限会社オムニシステム）に決定した。

(5) 導入に係る費用

利用料金は、会員（生徒・保護者・職員）が 1、000 人～2、000 人で年間 4 万 7 0 0 0 円（会員一人あたり約 5 0 円程度）。

3 今後の予定

総会で承認を得た後、5 月 26 日付で生徒を通じて、保護者に本システムの関する文書を配布する予定である。（本校ホームページにも掲載する。）